

＜ 本 部 ＞

方 針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールに対する適切な認識を図ります ・災害時の事業継続計画の整備を図ります ・職員及び利用者やその家族等の参加による改善の取組みと確認を実施します ・財務状況等を把握し、健全化に努めます ・長期計画の策定を進めていきます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 制度委員会でコンプライアンス規程・マニュアル策定・体制の構築を継続して進めます 2. 職員に対する倫理教育を引き続き行い、情報誌等により社会的ルールの遵守の重要性を普及します 3. BCP策定委員の研修参加・策定の勉強会を行うとともに、各施設毎の状況を踏まえながら各施設連携を取りBCPを作成します 4. 生活物資の備蓄を適正に行えるよう調査し、計画を立てて備蓄を進めます 5. 広報委員会で利用者の家族等の参加のあり方等を考え、アンケート内容の検討・実施計画を進めていきます 6. 職員の個別面談により、法人の改善事項を明確にします 7. 財務関係等の研修への参加や職務毎の勉強会を実施したり、各施設の年間予算の積算の仕方を検討し、引き続き予算管理ができるよう会計責任者の勉強会を行い健全化に努めます 8. 公認会計士等に相談し、引き続き外部監査の準備を進め外部監査を受けます 9. 長期計画の策定に関する研修等に参加し、引き続き計画の準備を進めます 10. 各施設の施設整備計画を専門家に相談し、長期計画策定の準備を行います 11. 各施設の10年後の在り方を引き続き考え、将来像を確立し、施設整備計画も合わせ、長期計画を策定していきます
地域に根ざす法人	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能の活用を推進します ・多様な社会福祉援助ニーズの把握に努めます ・地域を包括する公益的取組み推進に取り組めます ・情報の管理を徹底します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人として、各施設のサービス状況等を詳細に掌握し、各施設の地域向けに、その情報の発信方法を引き続き広報委員会で検討し実施につなげていきます 2. 広報委員会で広報誌・情報誌の周知方法を引き続き改善していきます 3. 施設機能の活用を推進するため、HPへの掲載の方法検討に継続して取り組みます 4. 広報委員会で援助ニーズの把握方法を引き続き検討します 5. みやざき安心セーフティネット事業の推進に継続して法人全体で取り組みます 6. 広報委員会・イベント企画委員会・施設長会で公益的取組みについて引き続き検討し、具体化した取組みを継続します 7. 地域協議会との連携が図れるよう、関係性の構築を継続して行います 8. サービス提供等に係る記録等の個人情報漏洩をしない方法を検討し、個人情報等の適正な保管等の方法を確立します 9. 継続して情報漏洩対策セキュリティツルの最新の情報収集を常に心がけ情報漏洩のないよう最善を尽くします 10. 情報漏洩をさせないための職員研修を行います
組織力	<ul style="list-style-type: none"> ・横の連携の推進を図る ・福祉人材の確保に努める 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人内外研修等で各施設職員との交流の機会を作り、継続して横のつながりを構築します 2. 各施設の施設機能を知る機会を作り、職員同士がお互いの施設機能に応じた連携ができるよう取り組みます 3. 施設見学・ボランティア受け入れ方を振り返り、案内・受け入れ方について再検討し、充実させていきます

<p>のある法人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー層の育成を行います ・職員の安全と健康の確保に務める ・非正規職員への配慮を行う 	<ol style="list-style-type: none"> 4. 入社して間もない職員の意見を聞き、HPの採用・求人ページを継続して見直し、充実させます 5. リーダー層の職員に、その立場の役割と自身の将来像を考える機会をつくり、法人外研修へ積極的に参加させ、情報収集を行い幅広い視野を持てるようにしていきます 6. 制度委員会で継続して労災防止策について検討し、防止策研修等を実施し、情報誌で防止策について周知します 7. 管理職のパワハラ・セクハラ等についての正しい知識を学ぶ機会を設け、継続してパワハラ・セクハラ等防止について職員へ周知します 8. 職員の健康診断受診を継続して促し、健康情報を周知していきます 9. 職員処遇等について専門家に相談する体制を継続し、制度委員会で引き続き労基法遵守とともに処遇改善を進め規程を見直していきます 10. 他法人の非正規職員の状況把握をするとともに、非正規職員の面接を行い法人の状況を分析します、改善点を探ります 11. 無期契約職員制度への対応を引き続き進めていきます
--------------	---	---

行事予定

月	法人行事	月	地域行事等
4月	法人内研修(新人職員・キャリアアップ)、新規正規職員視察研修	4月	
5月	法人内監査、法人内研修(施設長)	5月	
6月	理事会(監事同席)、評議員会	6月	就職フェア参加
7月	全体研修会、法人内研修(主任)	7月	市民総踊りへの参加
8月	第三者委員会、法人内監査	8月	福祉の仕事就職面接・説明会参加
9月	施設長研修	9月	
10月	事務研修会、理事会(監事同席)	10月	住吉ふくしま祭り 宮崎福祉会「みんなのひろば」参加
11月	法人内研修(一般・キャリアアップ)、法人内監査	11月	
12月		12月	
1月	人事ヒアリング	1月	
2月	理事会(監事同席)、第三者委員会	2月	
3月	新規採用者説明会、理事会(監事同席)、退職辞令交付式、辞令交付式	3月	
月例	施設長会(奇数月)	月例	
随時	制度委員会・研修委員会・広報委員会(施設長)・財務関係勉強会(職務毎)・主任勉強会 イベント企画委員打合せ・広報担当者打合せ・BCP策定委員会(職員)、メンタルケア	随時	就職説明会等への参加、学生向け施設見学、法人情報誌の配布 学生ボランティアの活用

役職員に関する事項

月例	職員会議、ノー残業デーの実施
随時	法人内外研修会参加、法人内イベント参加、法人内各施設の行事参加、全国社会福祉法人経営青年会会議等への参加、職員健康診断、職員旅行、職員との面談

＜ 中 央 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念等における明確化を行います ・職員の教育・研修の充実を図ります ・第三者評価受診にともなう、業務手順・マニュアルを策定します ・快適な生活環境を実現します ・利用者が楽しみを感じられる日々の活動の提供を行います ・災害対策等に基づく実効性のある訓練の実施を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全職員への周知を徹底します 2. 組織の強み、弱みに基づく課題の発見をし、弱みを強みに変えていきます(セブクロス方式への取組み) 3. 法令、社会的ルールに関する研修等に参加し、職員への周知を徹底します 4. 研修計画を作成し、全職員が研修に参加することでスキルアップに繋がります 5. 意見交換のしやすい雰囲気をつくり園内研修を充実させる中、SNSの適切な利用の注意・喚起も行います 6. 職務分担を整備し、安定した運営に取り組みます 7. 新指針に沿った保育計画を作成し、保育内容もその都度保護者に発信してまいります 8. 第三者評価項目についての共通理解を図り、結果を活かした取組みに繋がっていきます 9. 安全に衛生的に過ごすため、感染予防や安全点検マニュアルの整備を行います 10. 保育の見える化に努めます(情報掲示・情報発信を細目に行います) 11. アレルギーや配慮の必要な子への栄養管理や保育計画等を個別に作成し、対応します 12. 防災訓練計画の見直し、専門家のアドバイスも受けます 13. 防災関係の研修に参加、防災士を養成します 14. 非常食の確認、確保を継続的にします
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用します ・情報管理を徹底します ・困難事例への取り組みをします ・地域から信頼される情報発信をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 和太鼓演奏等を通して地域の行事に積極的に参加し、園での行事に地域の方を招き交流を深めます 2. 子育て相談や園庭解放を継続で実施します 3. フィールドワークをします(学生の受け入れ・職場体験の場の提供) 4. HPや便りの作成、メディアへの対応等で個人情報の取扱いに注意します(同意書) 5. 書類一式のデーター化を目指し、徹底した管理に努めます 6. 地域の方々に積極的に発信し、地域に根ざした園を目指します 7. 個別に配慮が必要とされる児童の受け入れについて、専門機関との連携をもちます 8. 児童の生活状況などを把握し救済に努める地域の状況にもアンテナを張ります 9. HPを通して園の方針等を明確にし、透明性を図ります 10. 幅広い年齢層との関わりを持ち、開放的な園を目指します(サロン活動)
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的な研修プログラムを構築します ・職員の安全と健康を確保します ・福祉人材の定着を図ります ・職員処遇の現状を把握・分析し、課題を抽出します ・期待する職員像を明確化します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各リーダーを中心に積極的に全員が関われる体制づくりを構築します 2. 職員の自己評価を行い、職員一人ひとりが課題や新たな目標に気付き意識向上に繋がります 3. 業務以外にリフレッシュできる行事や研修に参加し、楽しい職場づくりを実施します 4. 血圧計や健康チェックシート等で職員の健康意識を高めるようにしていきます 5. 職員の得意分野を生かした保育により子どもも職員も自信が持てるような機会を作ります 6. 家庭と仕事との両立のできる職場づくりをします(業務の計画性・相談しやすい環境づくり) 7. 仕事への喜びややりがいの感じられる職場づくりをします(職務分担の明確化・ojt の取組み) 8. フィールドワーク参加者へ福祉体験の喜び等を話す機会をもちます 9. 職員全体でそれぞれの立場を理解できるように環境づくりをします 10. それぞれの記念日等に年休取得できるような仕組み作りをし、モチベーションUPに繋がります 11. リーダー像を明確にするために、リーダー職育成の研修に参加後の全職員に明確化します(キャリアパス) 12. 話し合いの場での各職位やスキルに応じた業務内容を縦割り化します

行事予定

月	中央保育園行事	月	地域交流行事等
4月	入園・進級式、春の遠足(1・2組)、個人面談(4月～6月)	4月	
5月	農業体験(芋の苗植え付け・農業大学校1組)、保育参加日、交通安全教室	5月	商業地区イベント参加
6月	ふれあい運動ひろば(親子)	6月	
7月	プール開き	7月	ちびっこ夏まつり(小学生・地域との交流)
8月	プール納め	8月	
9月	防災訓練(消防署立ち会い)	9月	敬老交流会(祖父母・地域)ケアハウスシャトル
10月	秋のウォーキング(3・4歳児)、キッズキッチン(5歳児)、ひかり輝け楽しい発表会	10月	西地区ふれあい運動会への参加、世代間交流、小学校訪問
11月	農業体験(芋掘り5歳児)、園外保育(木城のえほんの郷 5歳児)	11月	西地区ふくしま祭り参加、郵便局イベント参加
12月	消防署見学(5歳児)、クリスマス会、冬のウォーキング(3・4・5歳児)	12月	高校生との交流、もちつき大会(地域交流)
1月	冬のウォーキング(3・4・5歳児)	1月	お正月あそび週間(地域・祖父母交流)
2月	豆まき、保育参加ウィーク、コスモランド教室(4・5歳児)	2月	バレンタインコンサート地域交流
3月	春まつり、お別れ遠足、海幸山幸ツアー(5歳児)、お別れ会、卒園式『お祝いのつどい』・修了式	3月	春まつり(地域交流)
月例	お弁当の日、発育測定、防災・防犯訓練、お歌で遊ぼう・英語で遊ぼう(3・4・5歳児) 和太鼓(4・5歳児)、スポーツ教室(3・4・5歳児)、リトミック(4・5歳児)、スイミング教室(4・5歳児希望者)	月例	子育て支援こもれび広場(第1・3火曜日)園庭開放(第2・4火曜日) 地域交流グランパ・グランマ広場、毎週月・水・金ゴミ拾い
随時	園外保育、健康診断(年2回)、蟻虫検査(年2回)、尿検査(年1回)、歯牙健診(年1回) 文字あそび(5歳)、消防点検・衛生害虫駆除、ハッピーバースデー、クッキング(食育活動)	随時	園庭開放、一時預かり保育、体験学習(中学生・高校生) ボランティア・実習生受け入れ、学童保育

職員に関する事項

月例	職員会議、保育会議、給食会議、リーダー会議、子育て支援会議、園内研修、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	研修報告会、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行

利用定員 170 人

内訳	2号定員(3～5歳)	96 人	3号定員(1.2歳)	65 人	3号定員(0歳)	9 人
----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	延長保育時間
	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	午後6時～8時
	保育短時間 午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間 午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業 ・一時預かり保育事業 ・障がい児保育事業 ・育児相談事業 ・学童保育事業 ・子育て支援事業

施設整備 ・0歳児クラス整備 ・全館ワックス清掃 ・各クラスパソコン導入

＜高千穂乳児保育園＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修充実を図ります ・職員に対する倫理教育を充実します ・経営理念等の明確化を図ります ・快適な生活環境の実現をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門知識の習得、技術の向上のために、研修計画に沿った園内外の研修に参加し、保育の質を高められるよう努めます 2. 利用者、職員間の人権を尊重し、認識を深めるよう人権教育の具体的な取組み(知識や経験の向上)を実施します 3. 経営理念、方針等を明確にし、全職員への周知徹底を図ります 4. 指針に沿った保育計画を作成し、「教育と擁護」のある活動を基本とします 5. 園の環境(階段・スロープの昇降)を利用し運動機能を高めさせます 6. 快適な環境を提供するためにさまざまな点を検討し、玄関・壁などの装飾にも気を配りより良い環境の実現に取り組めます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 誕生会に誕生者の保護者を招いて、交流をします 2. 江平小・宮崎小の参観日に預かり保育を行い、小学校との連携を図ります 3. 自治会児童福祉部会との話し合い・研修等で連携をとります
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材の定着を図ります ・期待する職員像を明確化します ・福祉人材の確保に取り組めます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員間の人間関係を良好にし、円滑なコミュニケーションに取り組めます 2. それぞれの保育士の個を認め 良い面が更に伸ばせるよう保育士のやる気に繋がります 3. その時々に応じた保育を実践し、各職位に応じた業務内容とスキルを明確化します 4. 園児一人ひとりの気持ちの表現を、十分に受けとめてもらう権利を意識した保育を実践します 5. 実習生やボランティア等を積極的に受け入れ、仕事体験の喜び等を話す機会を持ち、保育士確保にも力を入れます

行事予定

月	高千穂乳児保育園行事	月	地域行事等
4月		4月	江平小・宮崎小学校の参観時預かり保育
5月	内科健診	5月	
6月	蟻虫・尿検査、歯牙検診	6月	
7月	プール開き	7月	
8月		8月	
9月		9月	江平小・宮崎小学校の参観時預かり保育
10月	おじいちゃん・おばあちゃんとの交流会(2歳児)	10月	
11月	内科健診、蟻虫検査、ふれあい運動ひろば	11月	
12月	クリスマス会、保育参加ウィーク	12月	
1月		1月	江平小・宮崎小学校の参観時預かり保育
2月	豆まき	2月	
3月	ひな祭り会、卒園お別れ会、修了おめでとう会	3月	

月	高千穂乳児保育園行事	月	地域行事等
月例	保護者参加の誕生会(食事を提供)、スポーツ教室(月4回)、防災訓練	月例	福祉施設に資源物提供(月4回) 行政相談(月1回)、園周辺ゴミ拾い(2月に1回)
随時	園外保育、防犯訓練	随時	江平小・宮崎小学校の参観時に預かり保育(年5回) ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会、クラス検討会(保育内容検討)、身体計測、遊具・園内外の安全点検、腸内細菌検査、玩具消毒、消防設備点検、園舎内外の防除殺菌
随時	職員健康診断、職員旅行、法人内イベント参加、法人内外研修参加

利用定員 50 人 内訳 3号定員(1.2歳) 35 人 3号定員(0歳) 15 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時30分～午後4時30分(8時間)	延長保育時間	午前7時30分～8時30分、午後4時30分～5時30分

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 育児相談事業 ・ 障がい児保育事業 ・ 休日保育事業 ・ 一時預かり保育事業

施設整備 3階屋外遊技場日除けネット設置、移動大型遊具購入

＜天神の森きらら保育園＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修の充実を図ります ・快適な生活環境の実現を図ります ・災害対策計画等に基づく実効性のある訓練の実施を行います ・衛生的な環境の整備を整え感染症対策強化も図ります ・第三者評価を受けます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全員がいろいろな研修に参加できるような体制をつくりスキルアップを図ります 2. 研修報告を行い全員が共通理解をします 3. 定期的な園内研修を行います 4. 発達段階に応じた遊具・環境を整えます 5. 遊具・室内の定期的な点検・消毒を行い安全、清潔を保ちます 6. 地域の避難所と連携を取り合い合同の避難訓練を行います 7. 災害計画を周知徹底し、全職員が理解を深め、様々な災害を想定した訓練を定期的に行っていきます 8. 清掃の手順はマニュアル化し同じ意識で掃除に取り組み室内・遊具などを清潔に保ちます 9. 保護者・職員に感染症ガイドラインを再度配り意識を高めてもらい感染の予防・拡大防止に努めます 10. 評価結果を受け指摘を受けた点について話し合いをし改善していきます 11. 結果や改善点を公表します
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用します ・地域を活性化する取り組みを行います ・地域から信頼される情報発信をします ・地域と連携し安全・安心への取り組みを行います ・ボランティアの育成と活動を支援します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園庭開放デーを設けます 2. 近隣の清掃日を設けます(月1回職員が清掃活動を行います) 3. 地域にある施設との交流をします(施設訪問) 4. 地域の祭りや行事に参加します 5. 花育で子どもたちと一緒に造った寄せ植えを家の周りに飾ってもらいます 6. 園便り・行事のポスターなどを公民館に掲示してもらいます 7. ホームページで園の取り組みや子育て情報などを発信します 8. 災害時など地域の避難所として開放します 9. 災害時地域に貢献できるよう食料の備蓄をします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の定着と人材確保に取り組みます ・リーダー層の育成を行います ・横の連携を取り合います ・職員の安全と健康の確保に取り組みます ・経営理念を明示し周知徹底し期待する職員像を明確化します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員同士がコミュニケーションを図れる時間を設けます 2. 働きやすい職場作りに努めます 3. リーダー研修に参加し役割を理解しリーダー同士の話し合いの場を確保します 4. 伝達したいことは必ず連絡ノートに記入し回覧します 5. 職員会・リーダー会での報告は、参加していない職員に必ず伝達をする体制をつくります 6. ラジオ体操を奨励し体を動かし体調を整えるようにします 7. ”お互い様”の気持ちで相手を思いやれる職場づくりに努めます 8. 理念を再確認し求められる職員像について話し合い明確化したものを周知徹底します (求められる職員像について振り返る機会をもちます)

行事予定

月	天神の森きらら保育園 行事	月	地域行事等
4月	歓迎・親子遠足、桜ランチ(天神山)	4月	
5月	交通安全教室(祖父母交流)	5月	
6月	保育参観、花育	6月	
7月	プール開き、夕やけ祭り	7月	宮崎天満宮夏まつり
8月	プール納め	8月	水かけ地蔵まつり参加
9月	運動会、十五夜さま	9月	
10月	防災訓練、キッズキッチン(5歳児)	10月	
11月	七五三参拝、いも掘り、職場訪問、観劇	11月	
12月	生活発表会、餅つき、クリスマス会	12月	
1月	お正月あそび、コスモランド教室、保育参加週間	1月	
2月	記念撮影、豆まき、海幸・山幸に乗って(5歳児)	2月	
3月	ひな祭り、お別れ遠足、お別れパーティー、空港探検、卒園・修了式	3月	大淀小一年生との交流会参加、初午祭
月例	誕生会、避難訓練、身体計測、弁当の日、ノーマディアday、絵本貸出 スポーツ教室(2・3・4・5歳児)、スイミング教室(3・4・5歳児)希望者	月例	
随時	園外保育、クッキング保育、健康診断、歯牙検診、蟻虫・尿検査、プランター菜園 絵本閲覧(図書館)、園舎内外消毒(年6回)・砂場消毒(年4回)業者委託 実習生受入れ(宮崎医療管理専門学校・宮崎学園短期大学・九州保健福祉大学)	随時	施設訪問(ほのぼの天満)、幼児体験学習受入(大淀中学生) 工業高校家庭クラブ受け入れ、ボランティア受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食検討会、腸内菌検査、遊具・園舎内外安全点検、町内清掃(第3水曜日)
随時	研修報告会、絵本紹介(読み聞かせ)、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、ゴミ拾いウォーキング、職員健康診断、職員旅行 防犯訓練(不審者対策訓練)

利用定員 70 人 内訳 2号定員(3～5歳) 44 人 3号定員(1.2歳) 20 人 3号定員(0歳) 6 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業 ・一時預かり保育事業 ・障がい児保育事業 ・育児相談事業 ・学童保育事業

施設整備 ・2～5歳室内補修

＜ 波 島 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念等における明確化を行います ・災害対策、計画等に基づく実効性のある訓練の実施を行います ・快適な生活環境の実現します ・職員の教育・研修を充実します ・第三者による評価の受審をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人の尊厳を守る重要性について認識を深め、個人情報をきちんと管理しているか定期的に見直しをします 2. 年度初めに利用者との個人面談を行い、園の方針、姿勢を伝え理解を得ます 3. 園内研修を定期的に行い、園の方針や理念等を確認します 4. 災害時の緊急連絡網の確認、及び連絡訓練を実際に行います 5. 防災訓練をマニュアル・計画に沿って実施し、対策の見直し・改善をします 6. 子どもたちが季節感や安らぎを感じられるような環境づくりをします 7. 定期的に安全点検・整備を行い事故防止に努めます。 8. 研修等に積極的に参加し、研修報告⇒実践⇒改善点をみつけます 9. 施設の現状や課題を明らかにして、質の向上を図ります
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の安全、安心への取り組みをします ・地域を包括する公益的取り組みの推進をします ・施設機能の活用をします ・地域から信頼される情報発信をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域と連携した安全、防災マニュアルを作成します 2. 地域の合同訓練に参加したり、近隣の災害避難所として受け入れる体制を整えます 3. 園庭開放の案内を行い充実させ気軽に利用してもらえようとし、子育てサロン(支援、相談の場)へと繋げていきます 4. 地域のイベントや活動に積極的に参加します 5. ペットボトルキャップ回収を通して、子どもと共にエコ活動に取り組みます 6. 施設で開催する行事等へ利用者のみならず、地域の人々への参加を呼び掛けます 7. 地域の特色を生かした琉球舞踊や、伝承遊びを教えてもらい地域とつながりを持ちます 8. 地域の独居高齢者を把握し定期的に声掛け、見守りを行ったり、園に招待し交流を図ります 9. 定期的に行事、園での取り組みがわかる内容の情報誌(チラシ)を作り、地域の郵便局・銀行などに置かせてもらい波島保育園をアピールしていきます 10. 年に数回、波島公民館のごみ拾いをします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念の明示・周知徹底をします ・横の連携の推進をします ・福祉人材の定着を図ります ・職員の安全と健康の確保をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本理念や保育方針・園の方針園の方針を全職員に伝え理念を意識し、理解し共有していきます 2. 職員会などを通して理念がずれないよう確認し合い意識を高めます 3. 職員会、園内研修などを通して情報交換し合いそれぞれが自分の役割を意識し、お互いを認め合い協力し合っていきます 4. 誕生会、園外遠足など、調理士を交え交流を図るとともに、食の大切さを共有します 5. 法人内の保育園の見学、情報交換し合える機会をつくります 6. 研修に参加し、人間性と専門性の向上を図り自己研鑽に努めるようにします 7. 新人職員の育成として、悩みや疑問を相談しやすいように年齢の近い職員に指導に当たらせ、その職員の育成を中堅保育士が行い、さらに、みんなで支え合いフォローアップしていきます 8. 毎朝ラジオ体操等を行い健康づくりをしていきます 9. 休暇を取得しやすい雰囲気づくりを心掛け、みんなで支え合う働きやすい職場づくりに努めます

行事予定

月	波島保育園 行事	月	地域行事等
4月	春の歓迎遠足	4月	米作り体験(種もみ撒き)
5月	交通指導、お花見ハイキング	5月	米作り体験(田植え)
6月	保育参加日	6月	地域交流会(波島地区)
7月	プール開き、夕べの集い	7月	
8月	プール納め	8月	波島地区夏まつり
9月		9月	波島地区敬老会
10月	運動会、青島探検	10月	芋ほり体験交流(東大宮まちづくり推進委員会)、 地域交流会(波島地区)、米作り体験(稲刈り)
11月	みかん狩り、秋の味覚を食べよう(地域交流)、クッキング	11月	コミセン祭り、皇寿園訪問
12月	生活発表会、クリスマス会、餅つき	12月	福寿園訪問
1月	保育参加週間、なわとび大会、海幸山幸列車の旅、コスモランド教室	1月	
2月	豆まき、お花見ハイキング、空港探検	2月	小学校訪問(小学5年生との交流会)
3月	ひなまつり会、卒園児親子クッキング、卒園修了式、お別れ会、お別れ遠足	3月	
月例	誕生会、弁当の日、発育測定、防災訓練 体育遊び、英語で遊ぼう、和太鼓、ダンス、スイミング、フッ素洗口(毎日)、絵本貸し出し(毎日)	月例	園庭開放(火曜日)
随時	食育活動(野菜作り・米作り・簡単クッキング)、ペットボトルキャップリサイクル活動、幼年消防クラブ活動 健康診断・ぎょう虫検査(年2回)尿検査・歯科検診(年1回)、エイサー(踊り)	随時	実習生受入れ・ボランティア受入れ、中学生職場体験学習受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、園内研修、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	保育環境講座研修参加、絵本講座研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い

利用定員

100 人

内訳

2号定員(3~5歳)

56 人

3号定員(1.2歳)

41 人

3号定員(0歳)

3 人

保育時間

標準時間	午前7時00分 ~ 午後6時00分 (11時間)	延長保育時間	午後6時00分 ~ 8時00分
保育短時間	午前8時30分 ~ 午後4時30分 (8時間)	延長保育時間	午後4時30分 ~ 5時30分

地域子ども・子育て支援事業

・延長保育事業

・休日保育事業

・一時預かり保育事業

・障がい児保育事業

・学童保育事業

施設整備

・保育室の照明器具随時取替え

・園庭整備

＜ 住吉中央保育園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修の充実を図ります ・第三者評価による評価を受診します ・快適な生活環境の実現を図ります ・設備・備品の維持管理を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャリアに応じた研修プログラムを策定し、プログラムにそって研修に参加します 2. 積極的に研修に参加し、専門性、技術の向上に努めます 3. 正しい倫理観をもち、人権を尊重する、福祉に携わる仕事の重要性について認識を深めます 4. 一人ひとりが再度、基本理念や保育方針・園の方針を十分理解します 5. 日頃の保育を見直し、再確認していきます 6. 第三者評価を受診します 7. 子ども達が安全に安心して生活できるよう、保育環境を定期的に見直し、よりよい環境を整えます 8. ヒヤリハットを徹底し、事故防止に努めます 9. 年間通して、子ども達といっしょに、野菜づくり(食育)花づくり(花育)に取り組み花いっぱいの心地よい環境をつくります 10. 担当者だけでなく、ひとり一人がこまめに、施設・遊具の点検を行い、状況・情報を共有し、安全第一に努めます 11. 現在の施設・備品で、利用者にとって、より安全性の高いものであれば、整備・買い換えていきます 12. 防災・災害時の対等にしっかり取り組みます
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域から信頼される情報発信に取り組みます ・様々な困難事例への取組みに務めます ・多様な社会福祉援助ニーズの把握に努めます ・施設機能を活用します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園の様子や取組みがわかるように、ホームページを上手に活用発信していきます 2. 地域の回覧板で、園だよりや活動の様子等を知らせ、園行事への参加の呼びかけや、お誘いを積極的に行います 3. 地域機関・民生委員との連携をはかりながら、困っている人・困りごと等の情報を得られるように努めます 4. 障がい児の受け入れや育児相談、課題の多い家庭の支援や援助を積極的に行います 5. 保育園に対して、地域の人がどういう事を望み、期待しているか、地域行事や自治会の集まりに参加し情報等を得ます 6. 他の福祉施設や児童館、学校などと連携をはかり、情報交換を行っていきます 7. より園庭開放、“にこにこ広場”を充実させ、より多くの人に活用してもらえよう工夫し取り組みます 8. 地域行事等で施設や園庭、遊具等、地域で活用してもらえよう発信し提供します 9. 出前保育や職員(人材)派遣等取り組みます
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材の定着を図ります ・経営理念を明示し周知徹底を行います ・横の連携の推進を図ります ・体系的な研修プログラムの構築を図ります ・職員の安全と健康の確保に努めます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初任者のための専任、育成担当者を配置しフォローアップしていきます 2. 人間関係を良好にし、仕事をいっしょに楽しめるような雰囲気づくりやコミュニケーションスキルを身につけていきます 3. 仕事と生活(家庭)の両立に配慮した取組み(休暇取得・勤務体制)を考えます 4. 定期的な職員会・リーダー会・職務別チーム会していきます 5. 福祉会の一員として自覚と誇りをもち、職務を遂行します 6. 利用者の人権と最善の利益を尊重し守っていけるように努めます 7. 更なる報告・連絡・相談の徹底を図ります 8. 気づいた事、ふと思った事を口に出して伝え合い小さなリスクのうちに事故防止します 9. 自分の意見や思いを言い合える環境づくり、協力し支え合う仲間づくりを進めます 10. 園内研修では、学びたいテーマを挙げ全体で又グループで取り組みます 11. キャリアに応じた適切な研修の機会を積極的に設け、個別研修計画を作成し、各自管理していきます 12. 体調やメンタル面で相談しやすいお互いを気遣い声かけ合う職場環境づくりに取り組みます 13. 出来るだけ持ち帰りの仕事を無くせるよう、職員間で協力し合う体制をつくり、余暇・家族との時間を増やします 14. 日々朝のラジオ体操第一・3時前のラジオ体操第二で腰痛防止と健康づくりに努めます

行事予定

月	住吉中央保育園行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式、春と遊ぼう(フローランテ)	4月	
5月	園児健康診断、さあ出かけよう！(花しょうぶ・いちご狩り)	5月	こいのぼり運動会(老人クラブ交流)
6月	大淀川学習館探検、歯牙検診	6月	地域米穂夢(田植え)
7月	プール開き	7月	七夕交流(住之江荘)、納涼の夕べ(地域招待)
8月	保育参加日(アユのつかみどり)	8月	小学生との交流会(ソーメン流し・アユのつかみどり) 住吉中・日章学園中2年生職場体験
9月	総合防災訓練、お月見、歩こう会(萩の台)	9月	総合防災訓練(地域・児童館)・介護施設レインボー訪問
10月	青島探検、にこにこ運動会	10月	住吉小4年生との交流・住吉福祉まつり参加
11月	芋掘り、交通指導、親子遠足、みかん狩り	11月	住吉地区文化祭参加・お仕事ご苦労様訪問・地域米穂夢収穫祭
12月	もちつき、観劇会、わくわくドキドキ発表会、キッズキッチン	12月	住之江荘訪問・もちつき(老人クラブ交流)
1月	コスモランド教室、お正月あそび、保育参加週間、海幸山幸に乗って	1月	観劇会交流(姉妹園・地域子育て親子)
2月	記念撮影、空港探索、春を探しに！(梅見)	2月	豆まき交流(地域・さくら祖父母)
3月	ひな祭り、お別れパーティー、卒園・修了式、ゆっくり歩こう会(動物園)	3月	
月例	誕生会、防災訓練、身体計測、お弁当の日、ノーメディアデー(第3水曜日) スイミング(4・5歳児)、えいごであそぼう(3・4・5歳児)、スポーツ教室(3・4・5歳児)	月例	遊びにいらっしゃい！にこにこ広場(子育て支援)第2月曜日 園庭開放(月・水・土)
随時	園外保育、保護者会役員会、ママ楽カラ弁の日、砂場・植木・園舎内消毒 フッ化物洗口(4・5歳児)、エコ活動(ペットボトルキャップリサイクル活動)	随時	ふれあい交流の日(地域)、ボランティア受入れ・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	全体職員会、リーダー会(月曜日)、各クラス職員会(金曜日)、腸内菌検査、園舎内外の安全点検
随時	研修報告会、自主研修、園内外研修参加、法人内研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、地域のゴミ拾い <保育園イベントプロジェクトチーム活動> お花見歓迎会、夏バテ解消バーベキュー、運動会打上げ(保護者会含む)、クリスマス忘年会、福をよぶ豆まき大会 卒園・修了懇親会(保護者会含む)

利用定員	70 人	内訳	2号定員(3～5歳)	43 人	3号定員(1.2歳)	22 人	3号定員(0歳)	5 人
------	------	----	------------	------	------------	------	----------	-----

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時30分
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 一時保育事業 ・ 育児相談事業 ・ 学童保育事業 ・ 子育て支援にこにこ広場 ・ 障がい児保育事業

施設整備 ・ 園庭遊具他整備 ・ 園内各所修繕・補修

＜ 広 原 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による評価を受審します ・職員の教育・研修を充実します ・快適な生活環境を実現します ・災害対策計画等に基づく実効性のある訓練を実施します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第三者評価のガイドラインを知り、理解します 2. 第三者による評価を受け、改善点を明らかにし改善します 3. 研修に積極的に参加し、情報共有できるよう研修報告会を行います 4. 研修情報をホームページ等で情報収集をします 5. 少人数等での意見交換を行い、園内研修の充実を図ります 6. 子どもの姿(成長・発達)に応じて、家具の配置や玩具など工夫し、寄り添い落ち着ける空間づくりをします 7. 定期的な園内外の安全点検・整備・清掃消毒を行います 8. 草花や野菜を育て収穫し、自然に触れられる環境づくりをします 9. 年間計画・避難ルート・役割分担を再確認し、意思疎通を図ります 10. 日章学園との合同避難訓練の計画実行し、災害時のマニュアルの見直しをします 11. 非常持ち出し備品・防災用品の備蓄管理をします
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を包括する公益的取組みを推進します ・地域の安心安全への取組みをします ・施設機能の活用をします ・地域から信頼される情報発信をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 随時、子育ての悩み相談を受け、子育て支援の充実化を図ります 2. 近隣の施設の方々を招いて、子ども達と関わる時間を設けます 3. 特別保育やアレルギー対応など、保護者のニーズにあった保育の対応をします 4. 地域の方々に散歩の時など声を掛け、コミュニケーションを図ります 5. 園児を交えた園周辺のゴミ拾い活動を継続で実施します 6. 地域の方々の避難場所として活用してもらうよう周知します 7. 地域の方々をお茶会に招待し交流する機会を設け施設の活用を継続します 8. 園の開放日を設けます(随時) 9. 園の取組みや特色を記したお便りを、いこいの家に提示してもらいます 10. 地域行事の際、取組みや現状をアピールします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念の明示・周知徹底を図ります ・リーダー層の育成をします ・横の連携の推進を図ります ・福祉人材の定着を図ります ・職員の安全と健康を確保します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園の理念方針を職員会等で、内容を再確認します 2. 理念方針等を書面化し、職員の見やすい位置に掲示します 3. 園長主任と定期的なリーダー会を行い、リーダーとしての意識付けを行います 4. リーダー研修等を受講し、専門性を高めます 5. 行事等の仕事を任せ、計画、実行、反省を重ねることにより、リーダーとしての自信を持たせます 6. 法人内のイベントや研修に積極的に参加し、コミュニケーションを図ります 7. 報、連、相の大切さを常に話し、連絡ノートの活用も徹底します 8. 職員同士が話しのできる憩いの時間をつくり、コミュニケーションを図ります 9. 実習生、職場体験等の受け入れを積極的に行います 10. 福祉の仕事のやりがい、魅力について理解促進を図ります 11. 休みを取りやすい雰囲気づくりを心掛け、お互い支え合う働きやすい職場づくりに努めます 12. 体を動かす時間をつくります 13. 身体を休める空間を確保します 14. 4S(整理・整頓・清潔・清掃)の徹底を図り、職場内環境を整えます

行事予定

月	広原保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式、交通教室、親子遠足	4月	
5月	自然と遊ぼう、ふれあい会、いちご狩り	5月	こいのぼり運動会(いこいの家)
6月	保育参加日	6月	
7月	プール開き、七夕会、1年生交流	7月	卒園児交流
8月	プール納め、夏を楽しもう会	8月	
9月	お月見会、防災訓練、お茶会交流	9月	敬老会(いこいの家・エンゼルホーム)
10月	にこにこわくわく運動会、祖父母交流、空港探検、交流お茶会	10月	
11月	芋掘り、七五三参り	11月	廣原神社祭り参加、住吉地区文化祭参加、日章学園との合同防災訓練
12月	みんなの発表会、もちつき会、クリスマス会、キッズキッチン	12月	施設交流、ユニセフチャリティーお茶会
1月	コスモランド教室、保育参加週間、凧あげ、総合防災訓練	1月	新春交流会(いこいの家)(ケアハウス島之内)
2月	豆まき、記念写真撮影、海幸山幸列車の旅	2月	日章学園との合同防災訓練、小学校訪問
3月	ありがとう会、卒園・修了式、ひなまつり会、お別れ遠足	3月	
月例	誕生会(保護者招待)、身体計測、防災訓練、弁当の日、お茶会、運動あそび 英語であそぼう、スイミング(3・4・5歳児希望者)	月例	
随時	園外保育、健康診断、尿・糞虫卵検査、歯牙検診、クッキング、エコキッズ探検隊 絵本貸出(毎週木曜)	随時	日章学園との合同防災訓練 施設訪問(菜園デイみなみ・福寿草)、実習生・ボランティア受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、誕生会計画、腸内菌検査、遊具の点検、園舎内外消毒、お茶会参加
随時	保護者個人面談、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、職員健康診断、職員旅行、ゴミ拾いウォーキング、チャリティーお茶会参加 食育のための野菜づくり、美化活動(花植え・清掃)

利用定員 60 人 内訳 2号定員(3～5歳) 38 人 3号定員(1.2歳) 16 人 3号定員(0歳) 6 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 一時預かり保育事業 ・ 障がい児保育事業 ・ 育児相談事業

施設整備 ・ 園庭の環境整備 ・ プロジェクター一式購入

< 住吉東保育園 >

方針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の教育・研修の充実を図ります ・子ども・保護者が楽しみを感じられる日々の活動の提供を行います ・災害計画等対策に基づく実効性のある訓練の実施を行います ・第三者による評価を受審します ・個人情報保護体制の整備を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員の経験・得意分野に応じた研修を選択し参加を促します 2. 園内研修・法人内研修・園外研修にも積極的に参加し学びの体制作りをします 3. 専門研修はじめ人間力向上の研修に参加する 4. 宮崎大好き活動を通し四季の良さ、伝統行事を伝えます 5. 発達年齢を捉え、思いやりのある優しい心を育むため異年齢保育の良さを更に追求します 6. 保護者参加型の行事を行います 7. 年間計画をたて月1回の訓練を行います 8. 救護施設「すみよし」との合同防災訓練を年1回行います 9. 救急法・不審者対策訓練を行います 10. 保育園の質の向上と保育の質の向上を目指すための勉強会を行います 11. 個人情報についての勉強会を行います 12. 感染情報収集後、情報提供し迅速な対応対策を取ります
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用する ・困難事例への取り組みを行う ・地域を包括する公益的取り組みの推進を図る ・地域の安全・安心への取り組みを図る 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域交流レクリエーションの場として活用します 2. 行事後の園内解放をします 3. 地域の子育て悩み相談を受ける体制づくりをします 4. 悩み等の事例については職員会議を行い慎重に取り組みます 5. 地域の方々との触れ合いを大切に、相談に応じます 6. 地域行事に参加します(夏祭り・地区文化祭・住吉神社例祭・すみよしレクリエーション) 7. 近隣の小学校行事に参加し、交流をします 8. 地域の健康生活を考える地域ケア会議に参加し、保護者支援に努めます 9. 地域住民と気持ち良い挨拶を徹底します 10. 地域住民の困り感について手助けします
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・職員処遇の現状の把握、分析、課題の抽出を行う ・職員の安全と健康の確保に努める 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職員会・リーダー会・クラス別会議を行い気持ちを共有します 2. 国の動向等、知り得た情報を的確に知らせます 3. 情報誌の定期購入し新鮮な情報を発信します 4. 健康診断を行い、職員の健康状態を把握し早期治療をすすめます 5. 心身ともに健康で楽しく仕事にやりがいを感じるよう年休取得し易い人員配置を行います 6. 職員健康維持のため体操時間をもうけます

行事予定

月	住吉東保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園 おめでとう会、クラス懇談会、すくすくtime(個人面談)	4月	
5月	春の遠足、交通安全教室、魚網焼き会	5月	
6月	親子ふれあい参観日	6月	じゃがいも掘り交流(すみよし)
7月	プール開き、ソーメン流し、夏のおたのしみ会、宮崎の夏の食育、 ボディーペインティング、宮崎の夏の食育	7月	七夕交流(コーポ住吉荘)、
8月	夏の遊び、かき氷大会	8月	住吉夏祭り参加(和太鼓)
9月	祖父母参観日、敬老交流	9月	敬老交流会(コーポ住吉荘・祖父母・すみよし・ふれあいケアセンター)
10月	ふれあい運動会、空港探検、十五夜祭り	10月	芋掘り交流(すみよし)、青島めぐり旅(姉妹園交流)
11月	秋の遠足・七五三詣り、キッズキッチン、魚網焼き会、総合防災訓練 ティーパーティー(給食保護者試食会)	11月	宮崎大好き活動、地区文化祭、「すみよし」地区交流
12月	クリスマス会、参観日(子ども作品展)	12月	餅つき交流(すみよし)
1月	正月あそび、伝承遊び、春まつり(発表会)、子ども作品展	1月	伝承遊び
2月	就学前交通指導、小学校訪問	2月	住吉例大祭(和太鼓)、海幸山幸列車の旅(姉妹園交流) 豆まき交流(住吉・コーポ住吉荘)
3月	お別れパーティー、お別れ会、遠足、卒園・修了式	3月	ひな祭交流(コーポ住吉荘)、春のレクレーション(すみよし)
月例	誕生会、防災訓練、身体測定、お弁当の日、和太鼓(4・5歳児)、英語(3・4・5歳児) スポーツ教室(2・3・4・5歳児)、読み聞かせ、スイミング(4・5歳児希望者)、食育活動	月例	地域・老人ホームとの交流、育児支援
随時	内科診断(年2回)、尿検査、歯科検査、園外保育、エコ活動、 食育(野菜づくり)、フッ化物洗口、硬筆指導、クッキング(春・夏・秋・冬)	随時	育児支援(地域活動)、地域支援、宮崎大好き活動(散策・観光地めぐり) ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会議、給食会議、遊具・園内安全点検、職員腸内細菌検査
随時	職員健康診断、園内研修参加、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内レクレーション、職員旅行、自主研修 宮崎大好き活動、懇親会(地域)

利用定員

100 人

内訳

2号定員(3～5歳)

63 人

3号定員(1.2歳)

30 人

3号定員(0歳)

7 人

保育時間

標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時
保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4～5時

地域子ども・子育て支援事業

- ・ 延長保育事業
- ・ 一時預かり保育事業
- ・ 障がい児保育事業
- ・ 育児相談事業

施設整備

- ・ 各所修繕

＜ 富 吉 保 育 園 ＞

方針に沿った取組み

方針	重 点 課 題	具 体 的 取 り 組 み
信 頼 さ れ る 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な生活環境の充実を図ります ・設備・備品の維持管理を行います ・食事形態やアレルギーへの個別対応を行います ・サービスの自己点検と改善を行います ・第三者による評価を受審します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. クールダウン出来る場所、落ち着けるコーナーを設置します 2. クラスより机・椅子を移動させなくてもランチルームとして成り立つ様な、玄関ホール環境を充実させます 3. 地域を巻き込んだ避難訓練を実施します(不審者侵入・洪水・地震・津波等) 4. 以上児クラスの食事形態を考え、無理なくスムーズに流れて行ける様なランチルームの使用方法を工夫します 5. アレルギー対応を全職員に周知徹底し、無理無く進めていける様工夫し、記録を残します 6. 個人面談を行う事で、家庭での様子を把握すると共に保護者と職員間の風通しを良くします 7. 年に数回は自己評価の記入を行い、その都度自分には何が不足していたのかを考えます
地 域 に 根 ざ す 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> ・施設機能を活用します ・家族や育児等に対する支援を行います ・地域の活性化をする取り組みを行います ・地域の社会資源の活用を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の方に玄関ホールを開放すると共に、図書コーナーの充実を図り、本の貸し出しも行います 2. 地域にも呼び掛け、園庭を利用して交通教室や伝承遊び等、共に学べる機会を設けます 3. 月に1・2回の子育て支援を行い、親子への遊びの提供をします 4. 親子一緒に参加出来る様な、地域清掃やボランティア等の取り組みを行います 5. 地域の田畑を使用させて頂いての農業体験や地域の方のお話を聞く機会を設けます 6. 地域の方を講師に招いての講座を行います(花植え・お魚のお話し等)
組 織 力 の あ る 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> ・期待する職員像の明確化を行います ・体系的な研修プログラムの構築を図ります ・福祉人材の定着を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々の業務内容を明確にし、職員会等で現状況の見直しや意見交換を行います 2. 個々の職員がどの様な役割で進んで行くのかを理解し、仕事の方向性の共通理解を図ります 3. 研修計画の中に、一人ひとりの研修目標を立て、その目標を達成する為の研修に参加します 4. 日頃から、誰にでも相談出来る様な雰囲気作りを心掛け定期的に面談やアンケート等を実施します 5. 個々の特技が活かされる様な場を設け、アイデアを出し合い実行します

行事予定

月	富吉保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級式	4月	春のふれあい運動会(地域交流)
5月	保育参観、春の遠足(3・4・5歳児)、芋の苗植え	5月	生目古墳まつり参加(5歳児)
6月	交通安全指導	6月	田植え(地域交流)
7月	プール開き、七夕のつどい	7月	ふれあいの夕べ(地域交流)、小学校の話を聞こう(1年生交流) 高岡ケアハウスシャトル慰問(5歳児)
8月	プール納め	8月	生目ふるさと祭り参加(5歳児)
9月	ふれあい運動会	9月	富吉地区敬老会参加(5歳児)
10月	芋掘り	10月	富吉っ子親子まつり(地域交流)、稲刈り(地域交流)
11月	秋の遠足(4・5歳児)、七五三詣り(富吉神社)、キノコのお話し(JA)	11月	生目小学校の祭り参加(5歳児)・生目地区文化祭参加(5歳児)
12月	楽しい発表会、キッズキッチン(5歳児)、お魚のお話し 大淀川園児教室(5歳児)、クリスマス会	12月	もちつき大会(祖父母交流)
1月	総合防災訓練、保育参観週間	1月	
2月	豆まき、コスモランド教室(4歳児)、記念撮影、お別れ親子遠足	2月	年長児思い出の旅(生目地区一回り)
3月	ひなまつり会、お別れ会、卒園・修了式、保護者会総会	3月	富吉桜まつり参加(富吉共立病院)
月例	お誕生会、防災訓練、お弁当の日、身体計測、英語であそぼう(4・5歳児)…月2回 和太鼓(5歳児)…月2回、お歌で遊ぼう(3・4・5歳児)…月2回 体育遊び(3・4・5歳児)…月2回、スイミング(3・4・5歳児希望者)…月2回 お絵かきの日(2・3・4・5歳児)…月1回、文字のおけいこ(5歳児)…3ヶ月間	月例	
随時	園外保育、クッキング教室、健康診断(年2回)、歯科検診(年1回) 蟻虫・尿検査(年2回)	随時	ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会、給食検討会、腸内菌検査、遊具安全点検
随時	職員健康診断、法人内外研修会参加、法人内イベント参加、園内研修参加、各種研修参加、職員旅行、職員健康診断、職員旅行、職員親睦会 保護者との交流会、地区祭り文化祭打合せ会参加、地域ゴミ拾いボランティア

利用定員 55 人 内訳 2号定員(3～5歳) 35 人 3号定員(1.2歳) 15 人 3号定員(0歳) 5 人

保育時間	標準時間	午前 7 時 00 分 ～ 午後 6 時 00 分(11時間)	延長保育時間	午後 6 時 ～ 7 時
	保育短時間	午前 8 時 00 分 ～ 午後 4 時 00 分(8時間)	延長保育時間	午前 7 時 ～ 8 時、午後 4 時 ～ 5 時

地域子ども・子育て支援事業 ・ 延長保育事業 ・ 一時保育事業 ・ 障がい児保育事業 ・ 育児相談

施設整備 ・ 玄関ホールの照明器具設置 ・ ランチルームの環境整備

< 住吉南保育園 >

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護体制の整備を図り、コンプライアンス教育を徹底します ・快適な生活環境の実現を図ります ・利用者が楽しみを感じられる日々の活動の提供を行います ・第三者による評価を受審します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人情報における体制の見直しを図り、情報の流出を防ぐ為にデータの保存の仕方等の指導をします 2. 園内研修を引き続き定期的に行い、園の方針や理念等を確認します 3. 建物内外のメンテナンスを定期的に行い環境を整えます 4. 保護者の思いに寄り添うため、保護者アンケート・保護者面談・意見箱の設置、また、相談しやすい環境づくりを行います 5. 子ども達が体験したり発表する機会を設け、経験を重ねる事で知識を得たり自信が持てるようにします 6. 子ども達のキラキラ輝くひとみのために、園内外保育を充実させます 7. 園外保育の様子や送迎時に行う伝達事項などを掲載し、在園児の保護者も閲覧したくなる様なホームページづくりを目指します 8. 第三者評価を受審する事で明確になった問題点を改善します 9. 評価内容をホームページに公開し、質の向上を図ります
地域に根ざす保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を包括する公益的取り組みの推進を図ります ・施設機能を活用します ・地域の安全・安心への取り組みを実施します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の高齢者宅への誕生日訪問の範囲を広げます 2. 地域の方を行事に招待する等、交流を継続して行い地域を元気にします 3. 地域に伝わる伝統行事を体験する事で地域との交流を更に図ります 4. おひさま広場カフェ等、子育て支援の強化を更に図ります 5. 地域の方が楽しめるような企画を引き続き発信していきます（講演やイベント等） 6. 地域の方と合同避難訓練をしたり危険な箇所のチェックをしたりして安心・安全な地域作りを継続します 7. 防災等のマニュアルを全職員で作成し、災害時の備蓄を地域とともに相談しながら連携を図り計画します
組織力のある保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・体系的な研修プログラムの構築を行います ・福祉人材の定着を図ります ・リーダー層の育成をします 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修受講履歴を管理し、全職員の個別研修計画を立てます 2. 質の高い保育を提供できるように、継続して多種多様な研修等に参加しスキルアップを図ります 3. 年休を取得しやすい環境を作り、お互い様という思いやりのある職場づくりに努めます 4. 日頃から職員とのコミュニケーションをはかり相談しやすい環境づくりを心がける(アンケートの実施) 5. 各行事担当のリーダーやクラスリーダー等を決め、引き続きリーダー会議を定期的に行い意識を高めます 6. リーダー層向けの研修計画を立てリーダーとしての自覚が持てるようにします 7. 各階層別の研修計画を立てキャリアアップを図ります

行事予定

月	住吉南保育園 行事	月	地域行事等
4月	入園・進級おめでとう親子遠足、野菜の種まき祖父母交流	4月	祖父母交流
5月	交通安全教室祖父母交流	5月	祖父母交流、井上病院交流
6月	ふれあい保育参加日、クラスレクレーション	6月	
7月	プール開き、星まつり、児童プール	7月	井上病院交流
8月	プール納め	8月	
9月	わくわく空港探検、クッキング、敬老交流会	9月	井上病院交流、敬老交流会(こんぺいとう・ゆずりは)
10月	家族ふれあい森の運動会、キッズキッチン、防災訓練(通報訓練)	10月	井上病院芋ほり交流
11月	秋の収穫遠足、七五三詣り	11月	住吉地区文化祭、すみよしと芋ほり交流、お仕事ご苦労様訪問(歴史資料館・派出所他)
12月	みんなえがお発表会、クリスマス会	12月	餅つき祖父母等交流、井上病院交流
1月	祖父母交流週間(お正月遊び)、なかよし遠足、ふれあい保育参加週間	1月	祖父母交流週間
2月	春待ちウオーキング、豆まき、豆まき交流、就学前交通指導	2月	井上病院交流、小学校訪問(1年生との交流会)
3月	ひなまつり会、ひなまつり交流、お別れ遠足お別れパーティー、卒園・修了式	3月	井上病院交流・こんぺいとう交流
月例	誕生会、発育測定、防災・防犯訓練、弁当の日、スイミング(4、5歳児) 英語であそぼう(3、4、5歳児)、スポーツ教室(2、3、4、5歳児)	月例	
随時	園外保育、クッキング、絵本貸出、歯牙検診、健康診断(年2回)、パンアカデミー フッ化物洗口(4・5歳児)、ぎょう虫・尿検査、高齢者誕生訪問、園児美化活動	随時	ボランティア・実習生受入れ

職員に関する事項

月例	職員会(チーム会)、職員腸内菌検査、安全点検、園内研修
随時	園内外研修参加、法人内外研修会参加、研修報告、法人内イベント参加、環境美化清掃、ゴミ拾いウオーキング、職員健康診断、職員旅行 全館お掃除デー(毎週水曜日)

利用定員 100 人 内訳 2号定員(3～5歳) 71 人 3号定員(1.2歳) 26 人 3号定員(0歳) 3 人

保育時間	標準時間	午前7時00分～午後6時00分(11時間)	延長保育時間	午後6時～7時30分
	保育短時間	午前8時00分～午後4時00分(8時間)	延長保育時間	午前7時～8時、午後4時～5時

地域子ども・子育て支援事業 ・延長保育事業 ・一時預かり保育事業 ・障がい児保育事業 ・育児相談事業 ・学童保育事業

施設整備 ・調理室の環境整備 ・園舎塗り替え工事

＜ 児童養護施設 みんなせいかん ＞

方針に沿った取組み

方針	重点課題	具体的取組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対する倫理教育を実施します ・リスクマネジメント体制を構築します ・快適な生活環境の実現を図ります ・苦情解決、相談体制の整備を強化します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人権擁護委員会の組織を強化して内容充実を図ります 2. 倫理教育についての年間計画をたて、職員会時に事例検討会や研修会を行います 3. 安全確保委員会の組織を強化します(事故対策の実施状況や実効性について定期的に評価・見直し) (ヒヤリハットの分析と周知徹底) 4. 医療や健康についての定期的な勉強会をしま(感染症の流行に伴い事前に計画) 5. 「生活についてのアンケート」を実施し子どもにとってより良い環境づくりに努めます 6. 地域小規模児童養護施設設置に向けて準備をします(他施設の視察、空き家のリサーチ等) 7. 子どもや保護者に対して苦情解決の仕組みをわかりやすくしたパンフレットの説明をして周知します 8. 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすくした文書を丁寧に説明をします
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域住民に対する支援を行います ・多様な社会福祉援助ニーズを把握します ・地域を包括する公益的な取組を推進します ・地域の安全 安心に取り組みます 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広報誌を作成し配布して施設機能の理解を図ります 2. ショートステイ事業や里親レスパイトケアに加え一時預かり事業を実施します 3. 子育て相談等の相談に応じていきます 4. 地域の会議や行事に積極的に参加します 5. 行政への繋ぎ的役割を果たします 6. 民生委員等の視察の受入れを行い交流をはかります 7. みやぎき安心セーフティーネット事業を推進します(CSW配置) 8. 地域住民の生活に役立つ講演会や研修会を実施します 9. 学校や警察と連携して登校時の見守り活動やパトロールを実施します 10. 子ども110番の家として地域の安全に努めます 11. 災害時の取組みとして、地域との防災訓練を充実させます
組織力のある施設	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材を確保します ・福祉人材の定着を図ります ・人材育成制度を構築します 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成を強化します 2. 専門職種の特性に配慮したプログラムを作成して実施します 3. 学校や関係機関へのPR活動をすすめます(DVD作成等) 4. 年代別や経験年数別の情報交換会を企画し、実施します 5. 新人職員育成担当者を配置してフォローアップ体制を整えます 6. ノー残業デー・年休取得等を徹底して働きやすい職場づくりに努めます 7. 職員各自の研修受講履歴を管理し、個別研修計画を充実させます 8. 施設として「期待する職員像」を明確にして、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みを構築します (職員一人ひとりの目標について、年度当初・年度末面接で目標達成度の確認)

行事予定

月	児童養護施設 みんなせいかん 行事	月	地域行事等
4月	入園・入学おめでとう会、担当レクリエーション	4月	前浜自治会総会
5月	子どもの日全体レクリエーション、蛍観賞会	5月	地域防災訓練
6月	総合防災訓練、幼児健康診断、先輩に学ぶ	6月	市民一斉清掃
7月	児童と職員の研修旅行、七夕、海水浴	7月	
8月	施設球技大会参加、ふれあい家庭事業、一時帰省、花火大会見学、サマーメモリー	8月	皇寿園まつり、あすなろの里納涼祭
9月	十五夜、敬老の日イベント	9月	地域防災訓練、敬老会
10月	担当レクリエーション、秋休みレクリエーション、児童健康診断、ハロウィン	10月	健康福祉まつり
11月	総合防災訓練、七五三、みんなせいかんフェスタ(地域交流)	11月	地域4施設合同防災訓練
12月	クリスマス会、大掃除、ふれあい家庭事業、施設交流駅伝(持久走)大会、一時帰省、餅つき	12月	向陽園まつり
1月	初詣、ウインターメモリー	1月	
2月	節分豆まき、バレンタインデー、自立訓練プログラム(～3月)	2月	
3月	ひなまつり、送る会	3月	檜地区福祉まつり、前浜さくらまつり
月例	防災訓練、発育測定、調理実習、児童会、伝承あそび(金)、スポーツ(月・水・土) セカンドステップ、和太鼓、性教育、安全教育、心理療法、個別対応	月例	ボランティア活動(地域清掃)、 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校行事
随時	食育活動(野菜作り等)、小グループレクリエーション、嗜好調査 ボランティア招待レクリエーション、誕生会	随時	子ども育成会行事、檜地区地域まちづくり推進委員会行事 檜地区社会福祉協議会会議、ボランティア・実習生受け入れ

職員に関する事項

月例	職員会議・調和会、献立作成会議、ケース研究、腸内菌検査、COMMONSENSPAARENティング、小グループ会議、施設内外安全点検
随時	救急法講習会、家庭訪問、施設内外・法人内研修及び報告会、実習生受け入れ、アフターケア、職員健康診断、職員旅行、法人内イベント参加、他施設視察 自立支援計画の検討会、社会的養護自己評価、人権擁護委員会、安全確保委員会、防火防災対策委員会、性教育委員会、ライフストーリーワーク委員会 小学生教育支援委員会、宮崎県児童福祉施設協議会会議・専門委員会、

定 員 30 人

事業について ・ 宮崎市子育て短期支援事業 ・ みやざき安心セーフティネット事業 (生計困難者に対する相談支援事業)

施設整備 ・ 園庭周辺整備

＜ 救護施設 す み よ し ＞

方 針

方針	重点課題	具体的取り組み
信頼される施設	<ul style="list-style-type: none"> ・経営理念等における明確化を図ります ・サービスの自己点検と改善を行います ・快適な生活環境の実現に取り組みます ・リスクマネジメント体制の構築を図ります ・設備・備品の維持管理を行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンプライアンスを意識した業務の遂行に努め、施設の透明性を図ります 2. 広報誌やホームページを活用して、基本理念及び決算報告書を公開します 3. 業務改善会議を密に行います 4. 福祉サービス第三者評価を実施します 5. 虐待防止についてのセルフチェックを行います 6. リスクマネジメントについてのセルフチェックを行います 7. 建物南側にインターロッキングを設置します(車椅子通行用) 8. 2階避難誘導灯をLEDに改修します 9. 担当者会議や委員会を適宜開催するとともに、各種マニュアルの周知・徹底を図ります 10. トラクターを購入します
地域に根ざす施設	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を包括する公益的取り組みの推進を図ります ・施設機能を活用します ・地域の安全・安心への取り組みを行います 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活困窮者に対する相談支援事業を実施します 2. 生活困窮者就労訓練事業を実施します 3. 自立相談支援事業として、生活困窮者における相談窓口を設置します 4. 地域交流会を実施し、地域住民やボランティアの方との交流を図ります 5. 農作物等の販路を拡大し、地域とのつながりを密にします 6. 地域住民や消防団との合同防災訓練を実施します 7. 津波の際、地域住民の避難場所として施設を開放するとともに、災害に備え飲食物の備蓄を行います
組織力のある施設	<ul style="list-style-type: none"> ・業務標準化と統一した業務行動を行います ・期待する職員像の明確化を図ります ・福祉人材の定着を図ります ・総合的な人材の育成を図ります 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要に応じて各種委員会を設置します 2. 個別支援計画を充実させ、適切且つ効果的な支援を行います 3. ケース検討会議を随時行います 4. 年度初めに個人目標を立て、自己評価表をもとに目標達成に向けた業務を行います 5. 研修復命を行う機会を設けます 6. 各種公的資格の取得を奨励します 7. 年休を取得しやすい職場環境を構築し、心身のリフレッシュを図ります 8. ストレスチェックを年2回実施し、必要に応じてメンタルヘルスケアを行います 9. 個人研修計画に沿って各種研修に参加します 10. 他施設の見学を行います 11. 外部から講師を招き、施設内研修を実施します

行事予定

月	救護施設 すみよし 行事	月	地 域 行 事 等
4月	花見	4月	
5月	施設外レクリエーション(青島方面)	5月	
6月	ハイキング(花菖蒲祭り)	6月	地域清掃活動
7月	慰霊祭、夏祭り	7月	住吉神社夏祭り
8月	なんでも相談	8月	北部地区盆踊り
9月	敬老祝賀会	9月	幼稚園慰問
10月	秋のレクリエーション(映画鑑賞、温泉、動物園、ボウリング他)	10月	住吉福祉まつり
11月	地域交流会、一泊旅行	11月	住吉地区総合防災訓練、市民一斉清掃
12月	クリスマス忘年会、住吉神社清掃活動	12月	
1月	初詣、安全祈願祭	1月	
2月	なんでも相談	2月	住吉神社大祭
3月	ミニスポーツ大会	3月	
月例	自治会、レク活動、避難訓練、各種クラブ活動、ボランティア受け入れ	月例	
随時	利用者健康診断、ボランティア・実習生受け入れ、法要、保育園合同芋掘り	随時	保育園行事参加(餅つき、節分豆まき)、利用者就労先の各種行事参加

職員に関する事項

月例	職員会議、職員腸内菌検査、安全点検
随時	各種会議、個別支援計画作成・実行、虐待防止セルフチェック、リスクマネジメントセルフチェック、自己評価、ストレスチェック、職員健康診断、職員旅行 個人研修計画作成・実行、施設内研修実施、研修報告、合同防災訓練、AED講習、防犯講習、広報誌発行、法人内イベント参加、ゴミ拾いウォーキング

定 員 82 名

事業について

- ・一時入所事業 … 生活困窮者等に対して緊急保護支援を行います
- ・居宅生活訓練事業 … 訓練用住居を利用し、より地域生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことで、地域生活への移行を支援します
- ・居宅訪問事業 … 施設退所者、生活保護脱却後の人へのフォローアップを行います
- ・生活困窮者就労訓練事業 … 宮崎市自立相談支援センターと連携し、就労経験が少ない方や柔軟な働き方が必要な方に対して就労経験の場を提供することで一般就労に繋がります
- ・生計困難者に対する相談支援事業 … 宮崎県社会福祉協議会等と連携し、生計困難者等に対して相談支援や経済的援助を行うことで自立を支援します
(みやざき安心セーフティネット事業)
- ・自立相談支援事業 … 生活困窮者における相談窓口を設置します

施設整備

- ・インターロッキング設置工事(建物南側)
- ・LED改修工事(2階避難誘導灯)
- ・トラクター購入(作業支援用)